

人間学会 ニュースレター

上智人間学会

2016年3月10日発行

1. 第44回大会のご案内
2. 研究発表・紀要原稿の募集について
3. 第43回大会報告記
4. 会則の一部改訂について
5. 役員会・事務局からのお知らせ

1. 第44回大会のご案内

次回大会につきまして、役員会で協議しました結果、下記の要領で開催することに決定しましたので、ご案内申し上げます。

期日：2016年9月9日（金）・10日（土）

場所：上智大学

テーマ：人間学とキリスト教

本学会はキリスト教ヒューマニズムの精神に基づく人間教育の発展を願い、その基盤となる「人間とその生き方」の総合的な研究の場として活動を続けてまいりました。この間、宗教教育、価値教育への連続性をもった、総合的な学としての「人間学」への関心は大きくひろがったといえるでしょう。しかし近年は、資格取得やキャリア教育が重視される一方で、人文科学や基礎研究が軽んじられるといった、日本の高等教育を取り巻く環境変化の中で、研究・教育の基盤としての意義と可能性を一層明確にすることが求められているように思われます。

そこで今大会では、学会の原点である「キリスト教」を人間学の視点から見つめ直しつつ、キリスト教において「人間」を論じることの意味を再確認することができればと考え、上記のテーマを決定いたしました。

なお、今回はカトリック大学の基礎教育科目としての「人間学」の現状と未来についてのシンポジウム等も計画中です。

皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

2. 研究発表・紀要原稿の募集について

☆第44回大会研究発表の募集

上記の大会テーマを共通課題として、研究発表を募集いたします。(質疑をのぞき25分程度)
なお、研究発表は他に発表したことのないもので、人間学に関係した内容に限ります。

【発表応募締切】

所定の申込用紙に記入の上、

2016年4月28日(木)必着で事務局へお送りください。

【発表応募に対する回答通知】

2016年5月末に、応募に対する回答通知を文書で本人宛に送付します。

【発表概要の事前提出期限】

大会研究発表の発表概要の提出期限は2016年8月29日(月)

A4版で3~5枚、原則としてワープロ作成

☆『人間学紀要』第46号論文の募集

2016年度紀要(2017年1月31日発行予定)の原稿を、下記の規定に基づき募集します。なお、昨年度より「原稿の提出」をもって論文の「応募」を受け付けることになりましたので、ご注意ください。論文は査読の上、掲載の可否を通知いたします。掲載可の場合でも、内容により加筆修正や掲載区分の変更などをお願いする場合があります点をご了承下さい。

【論文応募締切】

所定の申込用紙(7月発行ニュースレターに同封予定)に記入の上、原稿およびデータと合わせて

2016年9月30日(金)必着で事務局へお送りください。

【応募に対する回答通知】

2016年11月末までに、応募に対する回答通知を文書で本人宛に送付します。

【投稿規定】

- ・本学会会員に限る。
- ・他に発表したことのないもので、人間学と関わりのある新原稿であること。
- ・枚数は、論文は400字詰原稿用紙で40枚以内、研究ノートは同20枚以内(いずれも脚注を含む)相当とする。
- ・原稿は原則としてワープロ作成(A4版・40字×30行)とし、原稿提出の際、機種、執筆者を明記のCD-ROMまたはフロッピーディスク等も同封すること。
- ・図表等は必要最小限とし、そのまま印刷可能な状態のものを用意すること。
- ・原稿は所定の期日までに「上智人間学会事務局」宛に3部郵送すること。
- ・原稿には日本語表記に加えて、英文のタイトルおよび執筆者氏名を標記すること。
- ・原稿冒頭に掲載するため、400字以内の要約を添付すること。

3. 第43回大会報告記

去る2015年8月28日、29日の両日、御聖体の宣教クララ会軽井沢修道院黙想の家にて、第43回上智人間学会学術大会が開催されました。中軽井沢駅からほど近く、さわやかな高原の霧に包まれた会場で、今回は「ケアと連帯」をテーマに、基調講演および8名の会員による研究発表が行われました。

基調講演では本学会で長年ご尽力いただいている、中村友太郎先生に「『福音の喜び』に学ぶ〜いと小さきボランティア活動の立場から」と題してお話を伺いました。「足立インターナショナルアカデミー」の塾長としての活動を続けられている先生は、大学の講義さながらに自由闊達なお話ぶりで、教皇フランシスコのメッセージについて熱心にお話下さいました。参加者一同、学生時代に戻ったような気持ちで聴き入り、あたたかい感銘を共有いたしました。詳細については『紀要』45号に先生がまとめて下さいましたので、ぜひご参照下さい。（翌朝はミサの前にご出発というハード・スケジュールの中お引き受けいただいた中村先生、本当に有り難うございました！）

研究発表は、一日目に2名、二日目に5名の計8名で、共通テーマ「ケアと連帯」を中心として、ひろく人間学の諸領域をカバーする多様な発表が行われました。（29日：澤田愛子氏、高倉節子氏、30日：佐々木隆氏、川本兼氏、島村絵里子氏、高橋勝幸氏、中澤慎一氏、鈴木伸国氏）

一日目のプログラムに続いて総会、その後の懇親会では、軽井沢在住の宮地國男さんも加わって下さり、それぞれの近況から草創期の思い出まで、テーブルを囲んだあたたかい語らいの時となりました。開催地や時期の関係もあり、やや小規模ではありましたが、世代を超えて「人間学」にかかわる思いを繋ぎたい、という共通の願いを確認することができたのではないのでしょうか。

（記：崎川）

4. 会則の一部改訂について

2015年度総会において、会則の一部改訂が承認されました。今回の改訂は昨年の改訂の際に見落とされていた表記上の問題点についての変更となります。（下線部が変更箇所）

- ・第4条 1. (改訂前) 年一回人間学会を開き、公開講演および研究発表を行う。
(改訂後) 年一回学術大会を開き、公開講演および研究発表を行う。
- 2. (改訂前) 学会は、人間学研究室に関わる諸研究活動および関連諸科学にわたる共同の研究活動を行ない、その成果を報告、刊行する。
(改訂後) 学会は、人間学に関わる諸研究活動および関連諸科学にわたる共同の研究活動を行ない、その成果を報告、刊行する。

改訂後の全文は『紀要』45号もしくはホームページをご覧ください。

5. 役員会・事務局からのお知らせ

★2016年の大会は、上智大学での開催となります。基調講演は島菌進先生（上智大学神学部特任教授、グリーンケア研究所所長）にお願いする予定です。現代日本を代表する宗教学者として、また上智での「キリスト教人間学」や「グリーンケア」にかかわってこられたご経験から、キリスト教と人間をめぐる、興味深いお話が伺えるものと存じます。

★昨年より『紀要』の投稿応募時期を、原稿送付締切の期日に一元化いたしました。また投稿論文の審査についても、複数の委員による査読、編集委員会および役員会での協議を通じて、よりの確なものとなるよう模索を続けています。「研究ノート」の扱いについては、現在の投稿規定には必ずしも当てはまらない状況ですが、掲載区分の定義を含め、投稿規定内容については今後役員会で協議し、適切な整備を計ってまいりますので、その旨ご了承下さい。

★東日本大震災から今年で5年、あの「春」に起きた出来事がいったい何だったのか、5年たった今でも、私たちはそれをまっすぐな言葉で語れずにいるように感じます。いのちを呑み込む自然と、それに抗い、万能を夢見る理性。両者の「あいだ」で苦悩する「人間」を見つめ、そこから語り出そうとする言葉が、私たちの「人間学」にも求められ続けているのではないのでしょうか。あの日から今日まで、先立った人々に思いを馳せながら、その望んだであろう道筋を尋ねて歩み、そこから確かな言葉をひとつひとつ拾い、勇気を持って語り出していく「春」にしたいものです。

★ニュースレターに掲載する「書評」や「著書紹介」、またエッセイや近況報告、お知らせなどの原稿も随時募集しております。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

★ご逝去

喜田 勲（藤女子大学長、元上智大学神学部教授・上智社会福祉専門学校長、イエズス会司祭）

2015年11月22日、享年73才

上智人間学会ホームページアドレス

<http://ningen-gakkai.org>

上智人間学会 役員会／事務局

会 長	瀬本正之	事務局	（担当：田代奈津子）
幹 事	高山貞美 崎川 修	〒102-8554	東京都千代田区紀尾井町7-1
会 計	武田なほみ 丹木博一	上智大学神学部	（キリスト教人間学）事務室内
紀要編集	中村友太郎 崎川 修	TEL	03-3238-3529 FAX 03-3238-3945
会計監査	長島世津子 堀井泰明	E-mail:	theolo-2@sophia.ac.jp